



日本で見れない世界を見つけに

山本 梨花

イスラム教と聞くと、宗教文化がない日本人の私にとってあまり良い印象を持っていなかった。しかし、マレーシアに訪れてから印象が一変した。イスラム教のラマダンのことについてのお話を伺った時に、なぜラマダンを行っているのかお聞きした。実際には、貧困で苦しんでいる人たちの気持ちを少しでも知る為にやっていた事を知った。そして研修をしていく中でマレーシアの人たちは、イスラム教を誇りに思っていた。学校に行った際に、マレーシアは多民族国家ということもありさまざまな人種がいた。しかし、それを否定するのではなく受け入れる。また互いに尊重し合っていた。そして、一番衝撃だったのはサービスエリアに行った際に、礼拝堂が設置してあったことだ。マレーシアの人々は、アイデンティティをしっかりと持っている。私たち日本には国として決められた宗教がない。では私たち日本人のアイデンティティはなにか。また日本にいるイスラム教の人々は暮らしやすいのか。私が日本に帰国した際にサービスエリアに立ち寄っても礼拝堂は見当たらない。唯一、見つけたのは空港だけだった。これで相手のことを受け入れられるのか。マレーシアのように日本も少しずつ宗教というものを受け入れ、まずは知ることが大切だ。私のように、先入観で判断している人も少なからずいるはずだ。異文化理解をする中で相手を受け入れ、相手の立場に立って考えることは必要不可欠である。私が今できる事はこの現状を発信していくことだ。